

一宮市「（仮称）木曽川文化会館設計プロポーザル」

実施報告書

2007.7.25

（仮称）木曽川文化会館設計者選定委員会

（仮称）木曽川文化会館設計プロポーザルの審査経過及び審査講評について

一宮市が計画する（仮称）木曽川文化会館の建設に向けて、優れたアイデアと卓越した技術を有し、情熱を持って当該設計業務を担える建築設計事務所及び当該事務所に属する設計担当者を選定するため、設計プロポーザルを実施した。

審査経過

専門知識をもつ学識経験者、文化団体代表、行政関係者からなる（仮称）木曽川文化会館設計者選定委員会を設置し、3回の設計者選定委員会で審議を行い、最優秀設計者1者、次点1者及び佳作4者を選定した。

1. 第1回設計者選定委員会（平成19年4月27日）

正副委員長の選出後、プロポーザル募集要領、プロポーザルの評価方法、評価基準等について審議し決定した。

募集要領に示したプロポーザルの提案課題は次のとおりです。

基本コンセプト（配置計画と主要動線及び施設機能・外部空間・内部空間の設計上優れている点の図解説明）

人・環境への配慮（人にやさしい、環境にやさしい施設づくりに関する設計技術上の提案）

ライフサイクルコストの削減（建築費のコストと施設の管理運営費の低減及びメンテナンスの容易さに関する設計技術上の提案）

市民参加の取り組み（市民参加の取り組みに関する提案）

2. 第2回設計者選定委員会（第一次審査、平成19年6月29日）

平成19年5月1日にプロポーザル実施の要請を行い、5月11日までに参加表明書を提出し6月21日までに提案書の提出があった16者の事務的な審査を行い、失格者がいないことを確認した後、すべての提案者名を伏せて、第二次審査のヒアリング要請者6者の選定を行った。第一次審査の評価項目として、事務所の遂行能力 基本コンセプト 人・環境への配慮 ライフサイクルコストの削減 市民参加の取り組みについて、提案書を審査し各設計者選定委員が評価、採点し上位6者を選定した。

ヒアリング要請者（五十音順）

株式会社 INA新建築研究所名古屋支店

株式会社 青島設計

株式会社 梓設計名古屋支社

株式会社 久米設計名古屋支社

株式会社 東畑建築事務所名古屋事務所

株式会社 日建設計名古屋オフィス

3. 第3回設計者選定委員会（第二次審査、平成19年7月25日）

第二次審査として、ヒアリング要請者6者に対して、くじによる抽選順で、設計担当チームの担当者による提案書の説明を受け、設計者選定委員会により質疑を行った。その後、担当者の能力 基本コンセプト 人・環境への配慮 ライフサイクルコストの削減 市民参加の取り組みについての提案を審査し、各設計者選定委員が評価、採点し、最優秀設計者1者、次点1者、佳作4者を選定した。

第二次審査の結果

最優秀設計者 株式会社 久米設計名古屋支社

次点 株式会社 INA新建築研究所名古屋支店

佳作（五十音順）

株式会社 青島設計

株式会社 梓設計名古屋支社

株式会社 東畑建築事務所名古屋事務所

株式会社 日建設計名古屋オフィス

審査講評

<総評>

本プロポーザルの参加作品はそれぞれ個性があり、特に第二次選考に選ばれた作品は、それぞれ優れた点があり、審査員も選考に大いに迷った。しかし、最終的には、設計に対する担当者の意欲が高く感じられ、かつ単に諸室機能の充足以上に、一宮市の新しい文化施設として、新しいアクティビティを誘発してくれる可能性の高い作品を選んだ。お忙しい日常業務の中で本プロポーザルに参加していただき、優れた作品を御提供いただいた各社の御努力に、ここに改めて深く御礼申し上げます。

<個別評>

最優秀設計者：株式会社 久米設計名古屋支社

当選案はコンパクトな形態の中に、多様な使い方に対応するフレキシブルな空間構成を実現させ、さらに音出しロビー、ピアノ練習室の追加など積極的な提案を行うことにより新しい文化施設のあり方を導き出している。必要諸室を機能的に配置するばかりではなく、それらの「間」の空間に積極的な役割を与え、そこを訪れた人々にさまざまな施設の使い方を引き出させる能力に優れている。西側の道路に面して日常的な練習室空

間を寄せ、賑わいを演出したり、北西からの伊吹嵐に対応したりするなどの外部との関わりの設計にも優れている。人にやさしい設計、市民参加型設計への意欲も高く、また、コストパフォーマンスにおいても十分に配慮を行っている。このような総合的な計画性の高さが評価されて最優秀案に選ばれた。ただし、南面、特に機械室のあたりの開放性や庇、デッキなどによる外部空間との連携性の強化、野外ステージの位置や向きの再考、出演者ロビーのゆとりの確保、音出しロビー等の内部空間の角ばったイメージの軽減などに配慮を期待したい。また、提案のピアノ練習室は数を減らしても、実現して欲しいとの要望も出された。

次点：株式会社 INA 新建築研究所名古屋支店

この案は、音楽の持つ楽しさ、やさしさがプラン全体を通してイメージさせてくれた案である。特に音楽教育における大事な子供達に対して、楽屋廻り等楽しくうきうきする空間が提案されている。内部に埋め込まれた、つどいの広場、いこいの広場はこの提案の空間の特色であり、周辺環境との関係で評価出来るものがある。欲を言えば、南側への開放性やパスウェー（通路）が確保されており、つどいの広場やホールの壁面計画等、音響上の検討の余地があったと思われる。

（以下五十音順）

佳作：株式会社 青島設計

明るく開放的、機能的で使いやすい、安全で愛着がもてるという点が、建築物の内部の明快なゾーニングによって、又、建築物の北側のせせらぎ周辺と大庇の空間によって、生き生きとしている点が評価された。また、地元の利用者の使い勝手を想定し、練習交流ロビーと多目的交流ロビーと情報ロビーをのびやかに形成している点も評価された。その一方で、建築物のアプローチである駐車場が敷地の南側に独立している点、建築物へのメインエントランスから諸スペースへの動線計画が不明な点、野外劇場が独立しすぎている点において、立地に合わせた提案に至っていなかった。

佳作：株式会社 梓設計名古屋支社

基本的な設計条件を誠実にとりまとめた優れた案である。しかし、この規模の施設としては、動線計画が複雑であり、平面の凹凸も多い。このことは、施設利用のフレキシビリティに制限を加え、また、コストパフォーマンスにも不利に働いている。もう少しすっきりした計画が期待された。

佳作：株式会社 東畑建築事務所名古屋事務所

この案は、敷地中央東側に建物を配置、主要な周辺道路からの景観として、森、緑を感じさせる開放的なイメージを持つ案である。エントランス側に駐車場が設計され、裏になりがちな風景をなくしている。また、北側の交流ロビー、ホワイエ、森のコリドール等、オープンな広がり提案されている。このつながりにおいて、森のコリドールの造形上の形体とエントランス、交流ロビーの独立性のなさを考え合わせた、提案がなされているとより良かった。南への3本の通路が設定されているが、少し狭さを感じる。森のパティオと練習室1を入れ替え南側に開放感を持たせる等の提案がなされているとより良かった。

佳作：株式会社 日建設計名古屋オフィス

中庭を挟み、東西に発表空間と創造空間を配し、北から人と南に駐車場として南北の玄関を配しコンパクトな矩形平面とすることで、表と裏のない明快な計画となっており、市民の活動の軌跡を表出している点が評価された。また、敷地の南面への活動の広がりや建設コストの低減についても配慮が行き届いていた。その一方で、舞台と客席の高低さと勾配において、詳細な計画がなされていない点、来訪者が楽しめるかどうかの点等において、具体的な計画で提案が不足していた。当プロポーザルへの提案としては、他の提案者と比べて必ずしも評価は高くなかった。

(仮称)木曾川文化会館設計者選定委員会

委員長：清水 裕之【名古屋大学大学院環境学研究科教授】

副委員長：竹本 義明【名古屋芸術大学音楽学部教授】

委員：小川 清一【愛知産業大学・大学院造形学部デザイン学科教授】

委員：佐地 多美【名古屋女子大学文学部教授】

委員：北川 啓介【名古屋工業大学大学院工学研究科准教授】

委員：小島 祥子【一宮市芸術文化協会役員】

委員：山口 善司【一宮市副市長】

委員：木全 俊雄【一宮市建設部長】